

公開用シラバス

高校2年 文学国語（理系）

教科	科目名等	学年	履修形態	実授業数	教科書	副教材など
国語	文学国語	2年	必修	30	『文学国語』 数研出版	

* 全クラス共通で実施

1 学習目標

年間 学習 目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、社会生活に必要な国語を正しく理解し適切に使える能力を育む。他者との関係の中で相互に理解し伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。言語感覚を豊かにし、自らが生きる社会において国語を尊重しその能力の向上を図る態度を養う。
----------------	---

2 授業進度

	1 学期	2 学期	3 学期
学習 内容	① 文学の扉 ② 昭和初期の小説	① 平成の小説 ② 大正の小説	① 昭和後期の小説
備考			

* なお、状況に応じて、若干の変更を行うことがある。

3 評価の対象と基準

評価 対象 ・ 方法	知識・ 技能	小单元ごとの「小テスト」、 宿題テスト等 定期考査(配点の約 40%)	評価 基準	知識・技 能	学期 A+A B C C- 学年 A B C 5段階 3段階	総 合 評 価 ・ 評 定 の 算 出	・観点別評価を基 に、各学期 10 段 階で総合評価 ・各学期評価に基 づいて年度末 5 段階評定 ・観点別の配分比 率は次の通り 知識等：思考等： 主体的態度 = 4：4：2
	思考・ 判断・ 表現	定期考査(配点の約 60%) パフォーマンス評価(課題 レポート、話し合いの記 録、発表会)		思考・判 断・表現	学期 A+A B C C- 学年 A B C 5段階 3段階		
	主体的 学習態 度	パフォーマンス評価(課題 レポート、発表会の評価、 ノート：内容&中長期的変 容)及び「出欠席」		主体的 学習態 度	学期 A B C 学年 A B C 3段階 3段階		

* 紙幅の関係上、観点別目標、学習範囲の個々の事例については省略・略記している。